

平成 21 年 4 月 7 日

太陽エネルギー発電機器導入 220 世帯を目標！

～ お財布にも優しいエコな暮らしが、地球を守ります ～

本年 4 月 1 日から、家庭部門からの省エネ対策の加速を狙い、太陽エネルギー機器や高効率給湯器などの設置及び、断熱リフォームなどの省エネ改修に対する助成の受け付けを開始した。受付期間は、平成 22 年 2 月まで。

本区は、地球温暖化対策として、環境基本条例に基づく環境基本計画（H21 年 3 月策定）において、CO₂ 排出量の削減目標を短期・中期・長期とし、高い目標を掲げている。その目標を達成するためには、積極的な対策を進める必要がある。（注釈 1）

CO₂ 削減対策では、家庭部門からの排出量が思うように減っていない状況にある。このことから、家庭からの排出量の 3 分の 1 を占めるといわれる給湯器を、省エネ型などへ早急に切り替え、直接的な減量効果を狙う。

また、新しい取り組みとして、高断熱リフォーム等の住宅改修も助成のメニューに加えた。住宅の造りによっても、省エネ効果を高められることを区民に PR するもの。

そして、特に住宅用太陽光発電システム機器の設置については、国、都の気運に乗り、本年度予算額 24,172 千円、世帯数にして 220 世帯分を組んだ。

本区の特徴として、区民に気軽に相談に立ち寄ってもらい、機器の導入促進につなげることを狙いに、エコ情報カウンターを設置した。これは区の助成申請のほか、各種助成・融資などの制度の紹介、また対策税制についてなど、環境配慮した暮らしに役立つ情報を提供する。

制度によっては、機器の取り付け後の申請では、助成の対象とならないケースがあった。区民にとっても“お得な制度”を利用できるよう、積極的に案内をしていく。

担当者は「情報カウンターを設置したばかりで、資料も十分ではありませんが、充実した情報提供ができるよう、収集に努めています」と 4 月下旬の開設披露に向け準備を進めている。

注釈 1【豊島区の削減目標】

- ・短期目標（2012 年度）…CO₂ を 2005 年度比で 11%（1990 年度比 1%）削減し、早期のピークアウトを目指す。
- ・中期目標（2025 年度）…2005 年度比 30%（1990 年度比 22%）以上の削減を目指す。
- ・長期目標（2050 年度）…2005 年度比 70%（199 年度費 67%）以上の削減を目指す。

注釈 2：ガス給湯器のエコジョーズでは、従来型と比べ CO₂ 排出量が約 13%削減、1 台で年間約 120 キログラムの CO₂ が削減される。（東京ガスのホームページより）

問い合わせ：環境政策課環境事業係